

毎週日曜発行
2021 12/12

こども新聞 週刊がほピョンプレス

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)



全国で地震、大雨、噴火などの災害が相次いでいるね。自然は農産物や魚、温泉などの恵みを与えてくれるけど、人間に危険を及ぼすときもあるんだ。国連の持続可能な開発目標（SDGs）は

地球のためにできること

災害に備え 訓練続ける

交流深め 地域で助け合い



17の目標の一つに「住み続けられるまちづくりを」を定めているよ。自分や大切な家族を守るため、何ができるかな。

◇ 仙台市宮城野区の福祉町町内会で11月14日、防火・防災・感染症予防対策訓練があり、大人たちに交じって子どもたちも参加しました。給水車の展示や、車いすの段差体験などが行われました。

遊びながら備えを学べる「減災カルタ」は、子どもにも人気でした。東北福祉大の学生が「災害時自分の逃げ道知っている？」「やってみようまずは家具の固定から」「よろしくね いざというときの助け合い」などと読み上げると、みんな

真剣な表情で取り札を探していました。



町内会は2003年から「自分たちの町は自分たちで守る」を合言葉に訓練を続けています。会場には毎年、多くの子どもたちの姿があります。訓練を企画する大内幸子副会長は「地域の将来を担う小中学生に防災に興味を持ってほしくて、楽しくなるように心掛けてきた」と語ります。

新型コロナウイルスの感染予防のため今年は見送りましたが、これまで小学5、6年生は災害時に簡単に作れるサバイバル飯（サバメシ）に挑戦したり、中学3年生は段ボールベッドを作ったりしました。「訓練していかないことは、災害時にできない。大人と一緒に体験することで、いざという時に役立つ」



新型コロナウイルスの流行前

◇ は、夏祭りや灯笼流し、花火大会なども行っていました。大内さんは「地域の人たちと普段から顔を合わせておくことが、被災時の助け合いにつながる」と、近所付き合いの大切さを教えてくれました。

災害の前に、備えや交流をすることが大事なんだね。みんなも通学路に倒れそうな塀や木がないか確認したり、ご近所さんにあいさつをしたり、あすからやってみよう。



子どもも車いすの搬送（はんそう）訓練（上）や減災カルタ（下）などを体験し、日頃から備えることの大切さを学んだ
=11月14日、仙台市宮城野区

今週の注目ニュース

◇18日（土） SENDAI光のページェント開幕
仙台の冬の名物、光のページェントが始まるよ。定禅寺通のケヤキを電球42万個でライトアップするんだ。新型コロナ対策で点灯式などの行事はないけど、ユーチューブの配信があるから、チェックしてみて。

きょうの紙面

- 2面 イマ★どきりポート
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 科学大好き 先端技術の研究者
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 子育て・教育相談コーナー

きょうのテーマ

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ